

# 女性農業者の活躍を支援

～女性の視点と能力を活かした経営発展を目指して～

## ■ 東讃管内女性農業者 ■

(東讃農業改良普及センター 宮内潮美 ○櫛田佳子)

### ●対象の概要

東讃管内の基幹的農業従事者のうち女性の占める割合は約半分となっており、若手女性農業者が活躍できる環境づくりを進めるとともに、女性が幅広い視野と優れた経営感覚を持ち農業経営に参画することが期待されている。

そこで、経営の発展を目指し、農業経営に積極的に参画する意欲ある女性農業者を育成するため、管内の次代を担う女性の認定農業者や新規就農者などを支援対象とする。

### ●課題を取り上げた理由

女性農業者は農業・農村の重要な担い手であり、その役割の評価や能力発揮が望まれている。

しかしながら、管内の認定農業者に占める女性の割合は、8%と、経営主のほとんどを男性が占めている状況となっている。

このことから、平成28年度から、農業経営における課題解決を図り、新たなチャレンジによる経営発展に向けた取組を促進するため、女性農業者の確保・育成と活躍推進を課題として取り上げた。

### ●普及活動の経過

#### 1 所内での連携と対象者のリストアップ

経営改善担当や新規就農担当と連携し、対象となり得る農家についての情報共有を図った。

管内における次代を担う女性の認定農業者や新規就農者などについて、対象者を追加、見直ししながら候補者リストを作成し、そのうちの新規就農者を新規認定農業者へ誘導することとした。

#### 2 交流セミナー及び課題解決研修の開催

リストアップした女性農業者を対象に、女性の積極的な農業経営の参画を進める目的で、「輝くアグリレディ交流セミナー」及び「輝くアグリレディ課題解決研修」を開催した。

セミナーでは、女性リーダー及び女性グループの取組についての事例発表や、お互いの持つ悩み

などについて意見交換を行った。

また、課題解決研修では、女性農業者がチャレンジしたいと考えている「直接販売」や「顧客の確保」をテーマに、事例発表及び情報交換を行った。



チャレンジする女性農業者の事例発表



コロナ対策をしながら熱心なフリートーク

表-1 交流セミナー及び課題解決研修の内容

月日	セミナー内容
8月27日	○「地域で女性が自分らしく活躍するために～加工品開発・直売所の運営と人間関係づくりの心得～」 東かがわ市農業委員会 会長 田村照栄氏
	○「スーパー産直コーナーでの販売と「ぼやっとガールズ」の“ゆるっと”丁度いい繋がり」 中讃農業女子ネットワーク 会長 岩瀬美和氏 國重幸代氏、大西三寿子氏
	○「東讃地域農ガールの取組紹介～会員募集中～」 東讃地域農ガール 会長 三好奈美氏
	○フリートーク

月日	課題解決研修内容
9月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「お米の直接販売に取り組んで ～顧客の獲得方法と売り方の工夫～」 香川県農業士 大西千明氏</li> <li>○「無人販売所運営や農業体験に取り組んで ～SNSを有効活用した魅力的な情報発信～」 「田んぼ屋たなか」榎本恵弥氏</li> <li>○情報交換 「女性の視点を活かした販売・PR活動」</li> </ul>

### 3 「東讃地域農ガール」への支援

女性農業者が、仲間とのつながりを深めながらスキルアップを図るため、「女性農業者グループ活動支援事業」を活用し、研修会の開催やイベント出展による情報発信活動など、若手女性グループへの支援を行った。



「かがわのイチオシ食材応援キャンペーン」でPR

### 4 「アグリレディ通信」による情報発信

平成29年度から、交流セミナーや研修、県が行うシンポジウムなどの内容や、女性グループの活動紹介などを取りまとめ、女性の活躍をPRした。また、情報発信ツールとして、新規対象者の掘り起こしの際に活用した。

### 5 家族経営協定及び共同申請の推進

家族経営を行っている女性農業者が、主体的に経営に参画できるよう共同申請や家族経営協定の締結を支援し、認定農業者へと誘導した。

#### 1) 認定農業者や新規就農者への推進

各市町の農業経営改善計画作成会の際に、家族経営協定を推進し、関心の高い農業者に対して、個別巡回を行い、家族への理解を図るとともに、協定書の作成を支援した。

また、夫婦での新規就農者に家族経営協定の意義などについて説明を行い、協定を推進した。

#### 2) 調印式の開催

協定の調印や、認定農業者の共同申請がスムーズに進むよう、各市町農業委員会及び農林水産主務課との情報共有、連携を密にした。



調印式で署名する新規就農者

### 6 女性が活躍する事例の実態調査

女性農業者の発展段階ごとの課題解決に役立てるため、経営実態に関する聞き取り調査を行い、今後の推進資料として取りまとめた。

## ●普及活動の成果

- 1 新規就農担当等と連携し、新規の対象者に「アグリレディ通信」による情報発信を行うとともに、セミナーなどへの参加を誘導した結果、次代を担う女性農業者を新規に7名(H28～累計34名)掘り起こすことができた。  
また、新規に女性農業委員が誕生し、若手農業者が地域で活躍する動きが見られた。
- 2 今年度、7戸が新たに家族経営協定を締結し、3戸が見直しを行った。  
また、認定農業者の共同申請などにより、新たに女性6人が認定農業者となった。
- 3 研修などへの参加により、刺激やヒントを得ることができ、直売所の開設や、農商工連携による商品開発・販売などに取り組むなど、新たなチャレンジを行う女性農業者が出てきた。  
また、「東讃地域農ガール」への支援により、会員が増えるとともに、会員のネットワークが拡がり、直売所への出店者が増加し、商品の充実につながっている。

## ●今後の普及活動の課題

「女性が参画している農業経営体ほど販売金額が大きい」と言われており、農業経営の発展のためには、引き続き、女性農業者のスキルアップに向け、支援していくことが重要である。

また、さらなる若手女性農業者の経営発展に向け、主体的なグループ活動を支援し、切磋琢磨しながら情報交換ができるネットワークづくりを行う必要がある。